

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻 助教
氏名 Name	永原順子
専門分野 Academic Field	日本文化学・宗教民俗学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	<p>1) 水の怪異伝承について</p> <p>2) 「謡（うたい）」文化の意義</p>
<p>1) 国内においては、高知県南国市前浜に伝わる「エンコウ祭り」の調査を継続しており、その成果を論文にまとめた。エンコウは河童のような妖怪であり、同祭りは水難事故防止を祈願して、毎年6月第1土曜に行われている。河童に代表される水の怪異伝承は、水利事業の発達や山野の開拓といった自然環境と人々の関わり、そして、祭礼の様態および人々の信仰心の変化などによって、様々な変遷を遂げている。水辺の危険区域に年少者を近づけないような教訓的文脈で河童が語られることもあり、その点を中心としてアジア諸国における水の怪異伝承との比較を試みた。フィリピン（11月）、スリランカ（3月）における水難学会主催のワークショップに際し、基調講演等を通じて日本の怪異伝承を理解してもらったうえで、各国における水の怪異伝承についてのアンケートを行った。現在、その調査結果のまとめを行っており、来年度の調査結果とあわせて報告書を作成する予定である。</p> <p>2) 高知県の各地に伝わる謡（うたい）文化について聞き取り調査を行った。現在、人生儀礼や祭礼等における謡の風習はほとんど残っておらず、過去に行われていた状況の調査にとどまっている。他地域（甲信越・近畿など）でも引き続き調査を行った。また、近世・近代における素人能や素人稽古に関する資料の調査も進めている。</p>	